

(様式第1-2号)

要件確認申立書

大阪府知事様

私(当団体)は、大阪府補助金交付規則(以下「規則」という。)第4条第2項第3号及び新事業展開テイクオフ補助金交付要綱第4条第2項第3号の規定に基づき、新事業展開テイクオフ補助金にかかる交付申請を行うにあたり、下記の内容について申立てます。

記

※1~13の項目を確認し、はい・いいえのどちらかを○で囲んでください。

| 申立事項 | | |
|------|--|--------|
| 1 | 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する 暴力団 、同法第2条第6号に規定する 暴力団員 、大阪府暴力団排除条例第2条第4号に規定する 暴力団密接関係者 である。 ※「暴力団密接関係者」については、次の2~6も確認してください。 | はい・いいえ |
| 2 | 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、 暴力団 又は 暴力団員 を利用するなどしている。 | はい・いいえ |
| 3 | 暴力団 又は 暴力団員 に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に 暴力団 の維持、運営に協力し、若しくは関与している。 | はい・いいえ |
| 4 | 暴力団 又は 暴力団員 であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている。 | はい・いいえ |
| 5 | 暴力団 又は 暴力団員 と社会的に非難されるべき関係を有している。 | はい・いいえ |
| 6 | (事業者においては、)次に掲げる者のうちに暴力団員又は上記2~5のいずれかに該当する者がいる。 ・事業者の役員(業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるか否かを問わず、当該事業者に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。) ・支配人、本店長、支店長、営業所長、事務所長その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、営業所、事務所その他の組織(以下「営業所等」という。)の業務を統括する者 ・営業所等において、部長、課長、支店次長、副支店長、副所長その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、それらと同様以上の職にあるものであって、事業の利益に重大な影響を及ぼす業務について、一切の裁判外の行為をする権限を有し、又は当該営業所等の業務を統括する者の権限を代行し得る地位にある者 ・事実上事業者の経営に参加していると認められる者 | はい・いいえ |
| 7 | 法人にあっては罰金の刑、個人にあっては禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から1年を経過しない者である。 | はい・いいえ |
| 8 | 公正取引委員会から私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第49条に規定する排除措置命令又は同法第62条第1項に規定する納付命令を受け、その必要な措置が完了した日又はその納付が完了した日から1年を経過しない者である。 | はい・いいえ |

| | | |
|----|---|--------|
| 9 | 規則第2条第2号イ～ハまでのいずれかの該当の有無等に関して調査が必要となった場合には、大阪府が求める必要な情報又は資料を遅滞なく提出するとともに、その調査に協力し、調査の結果、該当することが判明した場合には、規則第15条に基づき、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消されても、何ら異議の申し立てを行わない。 | はい・いいえ |
| 10 | 間接補助事業者に当該補助事業の全部又は一部を行わせる場合には、当該間接補助事業者が上記各号のいずれかに該当することとなった場合又はいずれかに該当していたことが判明した場合にその旨を直ちに届け出る。 | はい・いいえ |
| 11 | 暴力団等審査情報を、大阪府暴力団排除条例第26条に基づき、大阪府警察本部に提供することに同意する。 | はい・いいえ |
| 12 | 申請要件をすべて満たしている。 | はい・いいえ |
| 13 | 本補助金の申請における補助対象経費について、国又は他の地方公共団体等から交付されている補助金の充当されている経費及び国又は他の地方公共団体等の補助金の申請のために用いる経費は含まれていない。 | はい・いいえ |

※「1」～「8」で「はい」に「○」を付けた場合及び「9」～「13」で「いいえ」に「○」を付けた場合は、補助金の交付を受けることはできません。

年 月 日

住所（所在地）

名称（団体名）

氏名（代表者）

※氏名（代表者）については自署してください。